# Life plan
# ライフプラン情報

Vol.83
2016
10月号
発行
(公財)神戸いきいき勤労財団

新しい生き方みつけませんか？

「ライフプラン情報」では、生活設計を考えるうえで必要な3K「健康K」「経済・家計K」「いきがい・心K」についての有益な情報を提供していきます。

私の金言

## ユーモアと多様性が最強

認定NPO法人 コミュニティー・サポートセンター神戸（CS神戸）
生きがい活動ステーションマネージャー　**飛田 敦子 氏**

Contents

1 表紙の人　認定NPO法人 コミュニティー・サポートセンター神戸（CS神戸）生きがい活動ステーション マネージャー　**飛田 敦子** 氏
2-3 いきいきと輝く人　vol.18　**飛田 敦子** 氏
4 いきいきシルバーの集い　いきいきシルバーの集い報告
5 退職準備セミナー　退職後の生活設計
6 社会貢献塾　貢献塾視察バスツアーの様子
7 居場所サミット　居場所サミットの報告　登録団体募集登録案内／特典
8 受講生募集　・子どもの就職を考える親のためのセミナー・女性のライフプラン講座
・花時計ギャラリー情報
編集後記

# いきいきと輝く人 vol.18

今回の「いきいきと輝く人」はNPO法人コミュニティー・サポートセンター神戸（CS神戸）の 飛田敦子さんです。
多様性のある社会を作りたい、いろんな人や、いろんな考えを持つ人が入り混じる「ごちゃまぜ社会」になればいいな!と明るく元気にお話しして下さいました。
飛田さんが、何を思い、考え、行動したのか、パワーの源はどこにあるのかその謎が今回の取材で少しだけわかったような気がしました。


認定NPO法人 コミュニティー・サポートセンター神戸（CS神戸）
生きがい活動ステーション マネージャー

**飛田　敦子 氏　Atuko Hida**


1980年　神戸市灘区の生まれ。
現職CS神戸の理事兼事務局長。
中学3年生で阪神・淡路大震災を体験。甚大被災エリアにも関わらず、被害が少なかったことに後ろめたさを感じ続ける。スウェーデンやタンザニアでの留学を経て神戸に戻り、2003年にNPO法人CS神戸に入職。以降NPO・CBに関する相談業務、ボランティア・コーディネート、研修の企画運営に携わっている。神戸学院大学、甲南女子大学で非常勤講師 他。

はなだ賞授賞式

生き活1周年

## 中学3年の冬、震災体験

1980年。神戸市灘区で生まれました。鶴甲という所です。

中学校3年生で震災を体験しました。

鶴甲は岩盤が強く、揺れたとは思うのですが、横の母親の部屋からの悲鳴と「起きなさい!」という声で目覚めた感じでした。最初、神戸ではなく淡路の方で地震があったんだと思い、学校に行くため、制服に着替え、麓に降りて行くと‥家がひっくり返っていて、火事も出てる。途中、友達に会って「あっちゃん制服あっていいなぁ、私の制服は埋もれてるわ」って言われて驚きました。

その友達は、着のみ着のまま逃げてきた様子でした。

「制服あっていいな」って…。驚いたのと、いたたまれなさで逃げて帰りました。

被害状況が明らかになるにつれ、あまりにも被害がなさすぎる自分が後ろめたく思うようになりました。1月に震災、2か月後に卒業。そして御影高校に入学しました。

## こみ上げてくる鬱憤

高校入学式の日、「ここは2日前まで遺体の安置所だった、入学式の為に講堂を空けてもらった」と先生が言われました。校舎には避難した人でいっぱいで、非日常な光景でした。高校には、私みたいに寝ていて気づかなかったという人から、親・兄弟・ 友人・を亡くしたという人までいました。震災後半年遅れでやってきたショッキングな体験でした。また、入学式で先生が言った「みなさんにとって一番大事な事は3年後にどこの大学に行くかということです」という言葉に、「社会が大変な時にそんなこと言うなんて!!」と、反発する気持ちが湧きました。

その後、大学へも入学しましたが、どこか物足りなく、更にうっぷんが溜まり続けていきました。

スウェーデンクラスメイト

子どもシアター

## リセット!休学!!スウェーデン!!!

「一回リセットしないと、永遠にうっぷんがたまり続け、文句だらけの人生になる。文句のない所に自分で選んで行くしかない!」と考え休学し、単身スウェーデンに留学しました。スウェーデンには、「フォルクヘグスクーラ（国民高等学校）」という成人教育機関があります。スウェーデンだけで150校あり各校それぞれカリキュラムが違っています。移民、昔ドロップアウトした子が高校の単位を取りに来る人、環境や国際協力など特化したテーマを学びにくる人、リタイアした人たちが趣味を深めにくる人等多様な人達が共に学ぶユニークな学校です。また、寮がついているので衣食住も一緒です。「あっ!これいい!」と思いました。願書は全てスウェーデン語記入する必要があったので、辞書を引きながら必死で書きました。今思ったら文章なんかめちゃくちゃですけど（笑）。

## 運だけでなく、人にも恵まれた

受け入れてくれそうな移民コースのある学校は、30校くらいあったので全てに願書を送りました。その内、1校だけ返事があり留学が決まりました。スウェーデン語はほとんどわからない状態で留学したが、日常の会話は100%スウェーデン語。半年くらい経つと、さすがに大体理解できるようになっていました。

私は、在籍していた龍谷大学に8単位残して留学していたのでスウェーデンのどこかの大学で交換留学という事にしないと、日本に帰国しなくてはいけませんでした。

運が良いことに、私がスウェーデンに留学した半年後に、龍谷大学がスウェーデンのヴェクショー大学と提携を結んだので、その大学の担当者の所に行き、とりあえず1年間大学に置いてほしいとお願いしました。交換留学ではなかったのですが、大学側はおまけみたいな感じで受け入れてくれました。

半年間で残りの単位を取得し、卒論を書き、卒業することができました。異例な留学形態だったにもかかわらず日本に帰国せず卒業できたのは、龍谷大学のゼミの先生や学校職員の方が「彼女頑張ってるから卒業させてあげよう!」とご尽力いただけたお蔭だと思っています。

## 旅する学校 と マラリア感染

さらに1年間スウェーデンに残り、一番興味のあった「旅する学校」に入学しました。

1クラス20人程で、1年コースの学級です。カリキュラムは先生と生徒20人が議論して決めます。コースのテーマが「東アフリカ」だったので、座学が終わると実際にタンザニアとケニアに旅立ちました。その後、エイズ、債務、教育などテーマ別グループに分かれ、現地のNGOを訪問したり、サファリに向かったりもしました。

タンザニア ホームステイ宅

アフリカへ渡航する前に、ワクチン注射や、予防薬を服用しましたが、マラリアに関してはワクチンがないので、医者から「蚊に刺されないようにして下さい」と注意をされただけでした。ところが現地はものすごいんです、蚊が…。

気をつけていたのですが、アフリカ到着後3日目から脱水症状、高熱の症状が出はじめました。その日は長距離の移動日で、未舗装の道のぬかるみで足止めされるわ、エアコンが付いてない車内が猛烈に暑いわで、どんどん体調が悪くなっていきました。5時間かかり村に到着したときには意識もうろうで、友達が病院に担ぎ込んでくれました。検査結果はやはり「マラリア」でした。

病院で同室だった5歳の男の子は、マラリアで亡くなりました。私も死ぬのでは!?と思いましたが、薬をのんだら3日で治りました。

若さと体力もありましたが、日本人のように薬が買えて、栄養状態も良いとマラリアでは死なないのです…。その時、私は命の格差を実感しました。

## 就職先は「ＣＳ神戸」

スウェーデンでは、男性が育児休暇を普通に取っています。子育て中であっても女性の社会参加率は高く、投票率も90%にもぼります。社会的なことが日常に溶け込んでいて民度が高いなぁと感じました。例えば、大学生がパブで飲みながら、普通に政治の話をしていたり、政治の話をしながら「あの子かわいいから声かけてくるわ!」といった具合なのです。また留学生活を通して多様性のある社会にも魅力を感じるようになっていました。

自分は将来どんな仕事をするのか?と考えた時に、社会の仕組みづくりに関する仕事をしたいと思いました。普通は公務員と思われますが、試験に通らなさそうなのでやめておきました（笑）。

NPOならなんとかなるかと思って（笑）、「NPO求人」で、ネット検索すると、たまたまCS神戸が見つかったので、スウェーデンから応募しました。

社会をよりよくすることを仕事にしたい!、自分の時間の大部分を傾けてやりたい、それならば、企業よりNPOの方がいい!、“CS神戸”って知らないけど、まあいいやって!という感じで入職しました。

## 「尼崎のＪＲ脱線事故」

就職して1年目、事務的な仕事が多く、中間支援という仕事が社会の中で役立っているのか?という疑問を持っていた頃、JRの脱線事故がおきました。2014年4月でした。

その時「NPO・JR事故支援ネット」というネットワークが立ち上がりました。

事故にあった人たちが話せるような集いの場を沿線ごとに作ったり、生活支援のプログラムを提供したり、いくつかのNPOが連携して活動しました。

そこに私は事務局として参加しました。私はあの事故の責任の一端は、1分1秒の正確さを求めた社会もあると感じていました。ですので、このような事態に対しNPOがアプローチし、それに自分が関わるという事で、ようやくやりたい事や問題意識と仕事が合致した気がしたのでした。

## 現在の仕事内容

「生きがい活動ステーション」（生き活）のマネージメント全般です。人と地域を結ぶ橋渡し役を担うのが目的です。20㎡ほどのスペースですがサロンや講座を開いたり、ボランティアマッチングをしたりしています。

「生き活」のある六甲道勤労市民センターは、立地が良く、信頼性があるので参加のハードルが下がります。公共施設にこのような仕組みがあるのは、とても素晴しいと思います。私は、今まで一度も仕事がいやになった事がありません。人生の目標と仕事が一致している私は幸運だと思います。

## 普段の私

休みの日は、読書をしたり、つれ合いと出かけたりしています。大学の時からずっと続けているのは、タップダンス!。タップ歴は約16年くらいでしょうか、すごく面白いです。

## 今後やってみたいこと

私は、NPOや社会貢献塾の「すその」を広げないといけないと思っています。特殊な人たちだけがやっているようでは広がりません。そのためには、仕組みづくりはもちろんですが「なんかしらないけど面白そう」と思ってもらえるユーモアが大切だと思っています。

スウェーデンで感じたように、どうすればより多くの人たちに参画してもらえるか、どのような仕組みを新たに創生すればいいのか、そんな「すその」を広げていける活動を続けていきたいです。

第三十一回 いきいきシルバーのつどい

# 大盛況！
# 桂きん枝さんの講演と映画「愛を積むひと」を上映、約1,500名の方が楽しいひと時を過ごされました。

9月2日（金）に当財団の主催で「いきいきシルバーのつどい」を神戸文化ホール大ホールにて開催しました。

第一部は落語家の桂きん枝さんをお招きし、若かりし弟子時代のお話から今年6月に上方落語協会の副会長に就任し、現在は神戸繁昌亭の設立に向けて奔走されているお話をお聞きしました。

上方落語は一時期本当に下火になってしまい存続の危機であったが、このまま上方落語の灯を消してはいけない、と皆で踏ん張って大阪の天満天神繁昌亭の創立に向けて頑張られたとのこと。やはり資金集めが大変だったが現会長の6代目桂文枝（当時桂三枝）のアイディアで一般の方々、大阪のたくさんの企業の方から寄付を頂き何とか天満天神繁昌亭は無事に作られたそうです。10年間で約150万人のお客様にご来場いただけるまでになり、おかげさまで若手の落語家もずいぶんと増えたけれど、その分、1人当たりの繁昌亭での出番が減ってしまい悩んでいたところに、新開地の方から神戸にも落語の定席が欲しいとお声をかけて頂いたそうです。

『新開地という場所は昔はにぎわっていたのに今は寂しくなってしまった。落語の定席の小屋を作ってなんとか昔のようににぎわいのある街にしたい。』と、熱いご要望を頂き、上方落語協会としても何とか神戸に落語の小屋を作りたい、と現在各方面で調整中というお話でした。

講演の最後には、「笑いは健康!」をモットーに神戸の皆さまにも落語を楽しんでいただきたい。この話がどんどん進めば、なんと2〜3年後には神戸繁昌亭が完成し、神戸の皆さまのお目にかかれるかも!とのことでした。本当に楽しみです。

今年65歳を迎えた現在もとっても元気に活躍されているきん枝さんのお話でたくさんの笑いに包まれた後は、昨年話題になった佐藤浩市主演、朝原雄三監督の映画、「愛を積むひと」をご覧いただき、盛りだくさんのつどいは終了しました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

「退職後の生活設計」から

# セカンドライフをより良く暮らすために自分で必要生活資金を算出してみよう

公益財団法人生命保険文化センター講師　鍵山 文彦 氏

定年退職は終着駅ではなく乗換駅。
乗り換え後のセカンドライフをより良く暮らすには、将来お金がいくらかかるかを知り、自助努力目標額を算出して、今から備えておくことが必要です。

## 退職後の生活設計のポイントは?

今日はセカンドライフのお金の話です。みんなが長生きになっていることはご存知の通りです。平成27年の簡易生命表によると60歳男性の平均余命は23.55年、女性28.83年で、60歳で退職すると男女ともに長い老後が待ち受けています。この時間を有意義に生きていくうえで、「経済力」は、「健康」「生きがい」と並ぶ大きなテーマです。

退職後は入ってくる額が決まっており、あるものをどう使うかを考えるだけなので現役世代よりも資金計画を立てやすいですが、ここで着目していただきたいのは、老後資金は残りの人生で均等に使うわけではないということです。退職から15年後ぐらいまでの健康寿命のあるうちが、一番お金を使いたい時期です。旅行やスポーツ、グルメなど、楽しくできる時期だからこそ、お金が生きる使い方ができます。その後の10年ぐらいは、食費、保険料、小遣い、娯楽費などが以前に比べると少なくなります。さらに終末期は、最終的にどこでどのように暮らしたいか、介護されたいかを考えて、終の住処について検討し、元気なうちにリフォームや住み替えの準備もしておかなければなりません。

## 夫婦2人の生活費は現役時代の7割

セカンドライフの必要生活資金の考え方としては、夫婦2人の時期は現役時代の7割、その後、妻が1人になる時期は現役時代の5割が目安です。例えば、夫が60歳で退職した時に妻が56歳とします。夫は定年時の平均余命まで生きるとして、夫婦2人の期間をおよそ23年とします。さらに残された妻が1人で生きる期間を夫死亡時の平均余命12年とします。現役時代の生活費を月40万円と設定すると、40万円×0.7×12カ月×23年（夫婦2人期間）で7,728万円。さらに40万円×0.5×12カ月×12年（妻1人期間）で約2,880万円。合計すると1億円を超えます。これはあくまでも例なので、今お話しした計算方法で、まずは自分に必要な支出額を算出してください。さらに、住宅修繕費や医療費、子供の結婚資金、葬儀費用など必要と思われる諸々の支出も見積もらなければなりません。そして、ここから将来もらえる退職金や年金などの収入を引いたときの算出額がマイナスとなれば安心ですが一般にはプラスとして算出されるこの額が自助努力目標額です。

自助努力としては、50歳代前半なら貯蓄で備えるのもいいですが、もうすぐ退職という年齢であれば、消費を抑えたり、定年後も働いてセカンドライフの開始年齢を引き上げることを考えてください。資産運用をする場合は、若い時は多少資産が減っても挽回できますが、老後に資産が減ると減りっぱなしになってしまうので、増やすより減らさないことが重要。定年は終着駅ではなく乗換駅です。早めに準備して上手く乗り換えて、すてきな人生を送っていただきたいと思います。

### 夫婦二人暮らしの1ヵ月の生活費

支出（月額）　高齢夫婦無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）（総務省統計局「家計調査年報」／平成26年）

| | |
|---|---|
| 食料 | 60,869円 |
| 住居費 | 16,158円 |
| 光熱・水道費 | 21,042円 |
| 家具・家事用品費 | 9,788円 |
| 被服・履物費 | 6,940円 |
| 保健医療費 | 14,635円 |
| 交通・通信費 | 26,825円 |
| 教養娯楽費 | 25,968円 |
| 教育費 | 9円 |
| その他（交際費等） | 57,250円 |
| 税・社会保険料等 | 29,422円 |
| 総計 | 268,907円 |

収入　支出　不足額
207,347円 − 268,907円 = 61,560円

### 老後生活の準備資金を考えると…

不足額6万円 × 12ヵ月 = 72万円
72万円/年 × 25年 = 1800万円

さらに、修繕費、医療費などで1000万円とすると、計2800万円が必要。

**老後の生活資金として、3000万円程度準備する必要がある。**
**この額を準備する方法ですが、ウルトラCはありません。**
**定年になる前の50歳代で貯蓄に力を入れたり、退職金などで備えることになります。**

### 生活資金の考え方

老後の生活必要資金 ＝老齢基礎（厚生）年金 ＋企業年金 ＋ 自助努力

## 社会貢献塾2016 第5期

# 視察バスツアーに行ってきました!

**日程：2016年8月24日（水）9:30～17:00**

### 社会貢献塾とは?

座学と実習を通じて、社会にどのような課題があるのか、どのように社会貢献活動に参加していけばいいのか総括的に学んでいく講座です。
昨年の塾生からは、13人がボランティア活動などに参加、1人が事業立ち上げ、4人が事業立ち上げに向けて準備中であるなど社会貢献活動に取り組み、活動を始めています。
今回の視察バスツアーでは、以下の3団体にお伺いし、活動内容や継続する上での苦労などを伺ってきました。

### TOUR NPO法人 コミュニティかりば （神戸市西区狩場台3丁目）

コミュニティスペースの運営、生活のお困りごとのサポート事業

コミュニティかりばの外観はこんな感じです。

フリマボックスです。手作りの本格的な作品が並びます。
参加者さんに大人気でした♪

地域情報コーナーなどを充実させて地域の方が楽しめるイベントを積極的に開催しています。

### TOUR まちづくりスポット神戸 ショッピングモールBRANCH （神戸市垂水区小束山手2丁目）

**1 “企業との協働”**

大和リースとCS神戸（コミュニティサポートセンター神戸）が協働運営しています。ショッピングモールが地域づくりのプラットフォームに。
とってもオシャレなフードコートです!

**2 交流スペース**

まちスポ神戸を応援するサポーター（ボランティア）や登録団体が活動拠点として活用できる「登録会員専用の多目的スペース」です。
キッズコーナーがあり、常連の親子連れが立ち寄ってスタッフと談笑する姿も見られます。スタッフが様々な相談を受けて、ここから「地域活動はじめの一歩」が始まります。

### TOUR 椿谷プレーパーク （神戸市須磨区横尾1丁目）

「冒険遊び場プレーパーク」は子供も大人も自由に、もっと自然の中であそぼう!をテーマに子供たちが地域の自然に触れ、自分の責任で自主的に遊ぶ心を育てることを目的とした活動をしています。

昨年（平成27年）からは「畑のプレーパーク」を始めたそうです。
おいしい野菜作りをしながら学んだのは、たくさんの命がいきいき集う畑に何一つ、必要のないもの、無駄なものはない。という事だそうです。

この日はとても暑かったのですが、プレーパークの成り立ちや野菜の育て方など詳しくお話ししていただき、みなさん熱心に聞き入っていました。
自然と人の温かさに触れ、目を輝かせていきいきと活動されている姿がとても印象的でした。

# 第1回 居場所サミットin神戸を開催しました!!

8月7日（日）神戸市勤労会館7階大ホールにて、「第1回 居場所サミット in 神戸」を開催しました。兵庫県内で地域の居場所を開催されている方、関心のある方にお声掛けしたところなんと230名の方にご参加いただきました!
そのうち、もう居場所を始めているよ、ところが66か所もあり、大変驚かされました。

第1部は「居場所」実践者による活動紹介とパネルディスカッション、第2部は地域別「居場所」Big Map作りを実施しました。

第1部では10名の居場所実践者の活動紹介の後、コーディネーターの大和　三重氏（関西学院大学人間福祉学部教授）と活発に意見交換を行いました。

第2部は230名が神戸市内の9区11グループに分かれ、まずは区の地図に運営している居場所・知っている居場所をマッピング。さらに実際に居場所を運営するにあたってのコツ・べからず集を作るために意見を出し合い、最終的には各グループ3つずつのコツ・べからず集を作成しました。

ご参加の皆さまからは「居場所がこんなにできているとは驚きました。皆様のがんばりに感心しました。」、「同じ想いや考えを持っている方々とつながるきっかけになった」、「今まで聞いたことがなかった『居場所』であるが色々行ってみようと思った。」等々嬉しいお声をたくさんいただきました。来年、「第2回 居場所サミット in 神戸」を開催すべく、これからも「居場所」の情報を集めていきたいと思います!

## 企業・労働組合の
# 生涯生活設計普及のための登録制度のご案内

**人生90年時代を心豊かに生きるために生涯生活設計をはじめませんか**

**お手伝いのために研修講師の派遣、情報提供等を行います**

定年後の人生を心豊かにいきいきと生きるためには、在職中のできるだけ早い段階から、生涯にわたる生活設計をして、「健康」「家計」「生きがい」等の老後の不安要素に対する備えをしておくことが必要です。
しかしながら、個人ではわかっていてもなかなか踏み出せないもの。
（公財）神戸いきいき勤労財団では、登録していただいた企業、労働組合と手を携えて、従業員・組合員の皆さんが、生涯生活設計をするためのお手伝いをします。

**登録制度の内容**

- 対　象　市内に事業所・事務所のある企業及び労働組合
- 登録料　1年間　1口 10,000円
- サービス内容

○生涯生活設計に関する研修に講師を無料で派遣します（年1回）
○生涯生活設計に関する情報誌「ライフプラン情報」を無料でお送りします（年4回）
○当財団が実施する講座につき
　社員（職員）・組合員は受講料割引又は優先的に参加いただけます。
　福利厚生担当者は、無料で受講できます。

お問い合わせ先
（公財）神戸いきいき勤労財団 生涯現役支援課
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 サンパル10階
TEL（078）251-5561

## 神戸市勤労会館　子どもの就職を考える親のためのセミナー

受講生募集

若者を取り巻く現在の雇用環境や若者の仕事観を知り、親としてどのように子どもの就職活動をサポートしていけばよいのかについて講演します。

日　　時　平成28年11月25日（金）　14時00分～15時30分
講　　師　中内　隆三　氏（ひょうご・しごと情報広場　若者しごと倶楽部　統括責任者）
募集定員　15名
参 加 料　無料

●お申込みは10月11日（火）午前9時から先着順受付
電話・FAXまたは直接窓口にてお申込みください。

**神戸市勤労会館**
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-1-2　第3月曜休
TEL（078）232-1881　FAX（078）232-1876

### 女性のライフプラン講座
## 月刊誌「あまから手帖」編集長 中本由美子氏 講演会

参加者募集

日　　時　平成28年11月4日（金）18時30分～20時00分
テ ー マ　関西唯一の食雑誌「あまから手帖」～作り続けた20年～
会　　場　神戸市勤労会館　2階　多目的ホール
定　　員　女性50名
講　　師　月刊誌「あまから手帖」編集長　中本 由美子 氏
参 加 料　無料

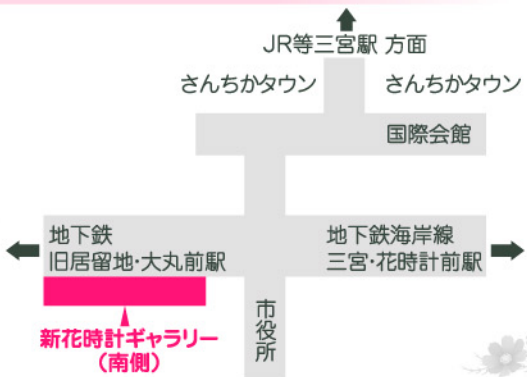
●お申込みは10月7日（金）午前9時から先着順受付
電話またはFAXにてお申込みください。

講演会テキストとして「あまから手帖」最新号（11月号）謹呈

**（公財）神戸いきいき勤労財団　生涯現役支援課**
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 サンパル10階　土・日・祝 休み
TEL（078）251-5561　FAX（078）252-9448

## 毎月かわる作品展示コーナー「新花時計ギャラリー」

各勤労市民センターでは、文化・教養・趣味・スポーツなどの講座を多数開講しています。
「新花時計ギャラリー」では、受講生の素敵な作品や、お知らせを月替わりで紹介しています。ぜひ、見に来てください！




## 編集後記

秋ですね！私は、10月生まれのためか、秋が一番好きな季節です。キンモクセイの香りが好きなので、花が咲くとなぜかワクワクした気持ちになります。今回、私は初めて「社会貢献塾の視察バスツアー」に同行させて頂きました。視察先ではいろんな活動内容を学べました。塾生の皆さんはとても楽しみながら参加されており、私も何かに挑戦したくなりました！

（あ）


ライフプラン情報
Vol.83　2016.10月号
Life plan
この冊子は、再生紙を使用しています。



公益財団法人 神戸いきいき勤労財団
ホームページ　http://www.kobe-kinrou.jp/
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 サンパル10階
TEL（078）251-5561　FAX（078）252-9448
Eメール　info-kobe-lp@kobe-kinrou.jp